



# “2006年2月期中間決算報告” 及び“下期の取組み”

CircleK Sunkus



株式会社サークルKサンクス  
(証券コード:3337)

広報IR環境室長 島田 聡

# 中間決算のポイント



- (1) チェーン全店売上高は、既存店前年比計画比マイナス0.5%、  
出店42店未達の影響で計画比43億円マイナス
- (2) 経費節減効果もあり、販管費は計画比9億円マイナス  
営業利益、経常利益は計画比、前年同期比を共に上回る
- (3) 固定資産減損会計の早期適用により、期首に減損損失  
49億8千5百万円を特別損失に計上したものの、  
中間純利益は計画を4億5千万円上回る
- (4) 統合スケジュールは計画通り進捗中  
サービスの取組み強化を実現 (Edy、ゼロバンクなど)

# 上期のレビュー (1) 開発と運営の取組み



## ■ 開発の取組み及び課題

### ・出店は42店計画未達

加盟候補者の確保が厳しい

### ・新たな立地への出店

- ・3月 サークルKとサンクス共に「愛・地球博」へ出店
- ・5月 サンクスが都営地下鉄「小川町」駅構内へ出店

### ・サークルKの新店日販は改善

### ・新部署「ニューエリア」が未出店地域である群馬県で、開発活動を開始



長久手会場内北ゲート  
サークルK「愛・地球博」店

## ■ 運営の取組み及び課題

### ・既存店前年比は計画を-0.5%下回った

特にサンクスが伸び悩んでいる：「店舗運営の6段階」を推進



# 出店・閉店の状況



(単位:店)

		2005/8期実績
出店数		152
閉店数		167
連結ベースの期末店舗数		5,256 (-15)

計画	(計画差)
194	-42
129	+38
5,336	-80

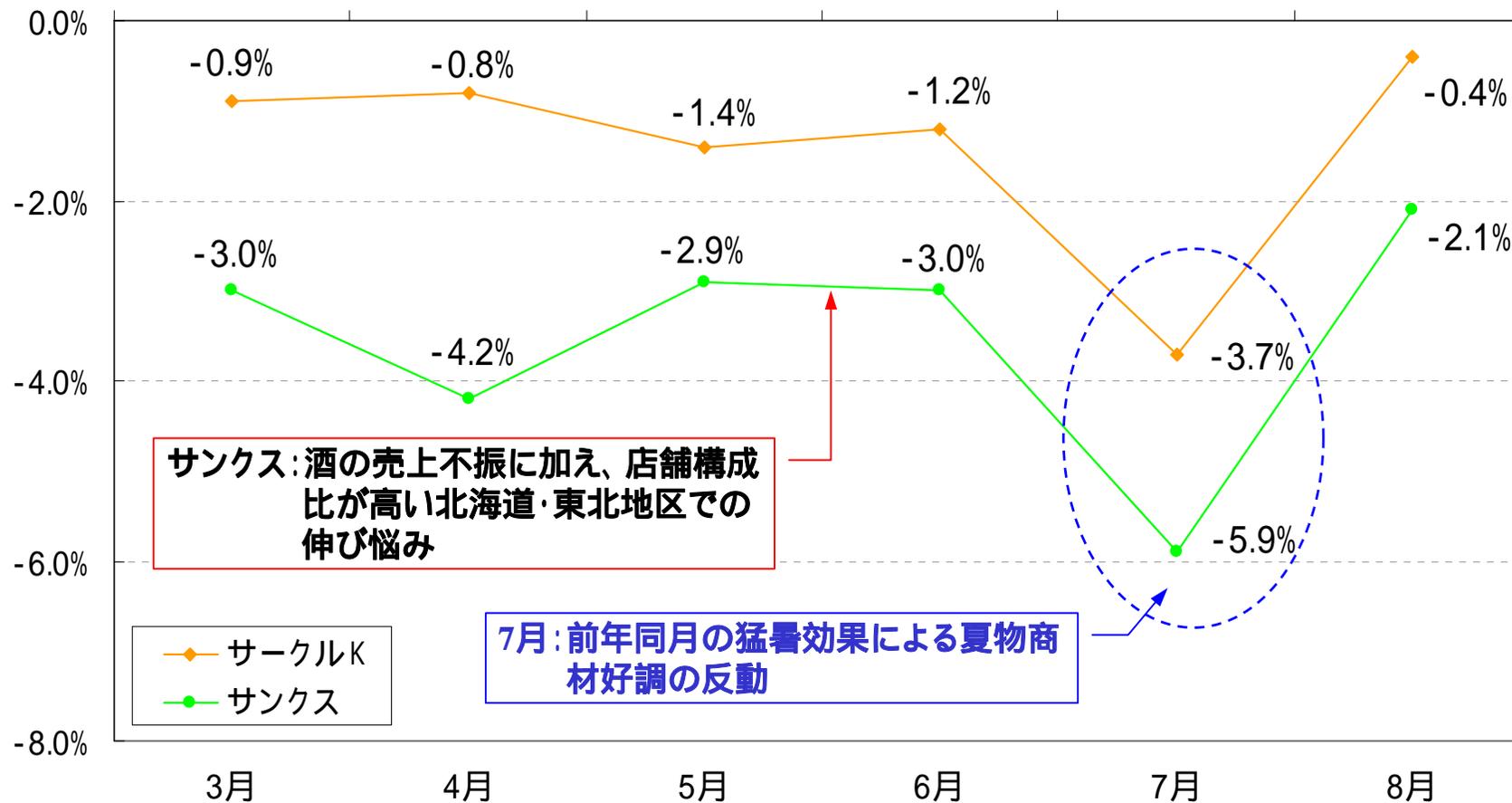
- (注) 1. 連結子会社のサンクス青森とサンクス西埼玉を含んでいます。  
 2. 期末店舗数の( )内数字は2005/2期末比増減です。

## ■ 個別の状況

(単位:店)

	サークルK		サンクス		連結子会社2社計	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
出店	84	-18	62	-28	6	+3
うち、リロケート	23	-3	4	-9	1	+1
新店日販(千円)	569	+111	464	-22	432	+121
閉店	85	+32	77	+35	5	+2

# 既存店前年比の月次推移



05/8	北海道	東北	関東	中部・北陸	中京三県	関西	中国	全国計
サークルK	-	0.6%	0.2%	-1.2%	-1.8%	-2.1%	-1.2%	-1.4%
サンクス	-4.9%	-5.2%	-3.4%	-	-0.5%	-4.2%	-1.0%	-3.5%

# 上期のレビュー (2) 合併効果の実現



## ■ サービス分野の強化を実現

3月：愛知県、岐阜県へ「ゼロバンクATM」設置開始

- ・8月末現在：1,092店（愛知県962店、岐阜県130店）
- ・認知度が上がり、利用件数も順調に伸長

4月：電子マネー「E dy」決済を全店へ拡大

- ・「KARUWAZA CLUB」の会員数も3月末に比べ、約6万人増加 **会員数 89,989名(8月末現在)**

7月27日：サークルKでも「チケットぴあ」の取り扱いを開始することで合意

8月12日：「ゆうパック」の取扱いを開始することで日本郵政公社と合意

(注)「チケットぴあ」は10月より、「ゆうパック」は11月中旬より店舗でのサービスを開始します。



**ZERO BANK**



E dyカードをリーダーにタッチするだけで、楽々決済！

# 上期のレビュー (2) 合併効果の実現



## ■ 合同キャンペーンの開催、共通商品の販売を実現

3 月                      4 月                      5 月                      6 月                      7 月                      8 月



3/15 ~ 4/4 「名古屋フェア」



「わらじ味噌カツ弁当」

「えび天むす」



6/7 ~ 6/20 「味の饗宴」



「神田川流懐石寿司御膳」、  
「陳建一 四川風麻婆丼」等



7/5 ~ 8/22 「スター・ウォーズフェア」

## ■ ベンダー・物流統合は計画通りに進捗

- ・加工食品(04/10~06/2完了予定)    05/8期の加工食品の**値入は0.9ポイント改善**
- ・冷凍食品:計画通り、4月より開始    06/2完了予定
- ・雑    貨:5月より開始    06/2完了予定
- ・ファーストフード、デリーフーズ:06/4より着手    08/2完了予定

# カテゴリー別の値入率の状況



	サークルK		サンクス	
	値入率 前年同期比増減	売上構成比 前年同期比増減	値入率 前年同期比増減	売上構成比 前年同期比増減
ファーストフード	-0.2%	±0.0%	+0.7%	+0.2%
生鮮食品	+0.1%	+0.1%	+0.4%	-0.1%
加工食品	+0.8%	-1.2%	+0.9%	-1.1%
<b>食品小計</b>	<b>+0.3%</b>	<b>-1.1%</b>	<b>+0.8%</b>	<b>-1.0%</b>
非食品	-0.2%	+1.0%	-0.2%	+0.8%
サービス	-1.3%	+0.1%	-1.0%	+0.2%
<b>全商品</b>	<b>-0.2%</b>	<b>-</b>	<b>+0.2%</b>	<b>-</b>
<b>全商品</b>	<b>サークルKサンクスベース 29.0% (前年同期比 ± 0.0%)</b>			

\* 2004年10月から開始している飲料、菓子、その他の加工食品、酒でのベンダー、物流統合の効果で加工食品の値入はサークルK 0.8ポイント、サンクス 0.9ポイント改善

\* 比較的値入の低い商品の売上構成比が伸長

- ・たばこの売上構成比:サークルK 18.9% (前年同期比 +1.0%)、サンクス 15.4% (前年同期比 +1.0%)
- ・9/15で販売中止となったハイウェイカードの駆け込み需要に備えた仕入増加による影響

(注)このスライド以降、すべてのスライドの平均値入率はエリアFCを含んでいるため、他の開示資料と違う場合があります。 7

# 連結業績の実績と計画の差異



(単位:百万円)

	2005/8期実績	
		前年同期比
チェーン全店売上高	479,110	-0.1%
既存店前年比	-2.4%	-
平均値入率	29.0%	± 0.0%
営業総収入	95,463	+5.6%
営業総利益	69,229	+1.7%
販管費	54,167	+0.6%
営業利益	15,061	+6.0%
経常利益	14,730	+3.8%
中間純利益	5,290	-33.2%

計画	(計画差)
483,500	-4,390
-1.9%	-0.5%
29.1%	-0.1%
93,080	+2,383
69,890	-661
55,160	-993
14,730	+331
13,830	+900
4,840	+450

(注)このスライド以降、すべてのスライドの前年同期比は、合併前のシーアンドエス連結と比較をしています。

# 連結業績の要因分析

チェーン全店売上高、営業総収入



(単位:百万円)

2005/8期	連結	前年同期比増減
チェーン全店売上高	479,110	-423
既存店前年比	-2.4%	-
平均値入率	29.0%	± 0.0%
営業総収入	95,463	+5,045

## チェーン全店売上高は4億円減少

\* 新店の寄与があったものの、既存店売上の伸び悩みの影響が大きかった

(単位:百万円)

	売上高	前年同期比
サークルK	262,583	+2.4%
サンクス	205,558	-0.8%
連結子会社2社計	10,969	-1.4%

## 営業総収入は50億円増加

\* 直営店が前年同期末比77店増加したことによる影響  
 ・直営店売上高 347億円(前年同期比 +17.8%)

## チェーン別の既存店前年比

サークルK -1.4%、サンクス -3.5%

## チェーン別の平均値入率

サークルK 28.5% (前年同期比 -0.2%)  
 サンクス 29.4% (前年同期比 +0.2%)

# 連結業績の要因分析

## 販管費、営業利益



(単位:百万円)

2005/8期	連 結	前年同期比増減
営業総利益	69,229	+1,152
販管費	54,167	+301
人件費	10,699	+584
広告費	5,571	+157
地代家賃	18,338	+877
設備リース料	4,405	-1,192
減価償却費	3,748	-438
その他	11,403	+312
営業利益	15,061	+851

### 販管費は3億円の増加にとどまる

- \* 直営店の増加により、**人件費**は5億円増加
- \* 店舗にかかる**地代家賃**は、前年同期より店舗数が増加したため8億円増加
- \* **設備リース料と減価償却費**は、固定資産を減損した分、当中間期の費用が低くなっているほか、店舗 システム等のリース期間満了により11億円減少

### 営業利益は8億円増加

- \* あらゆる面での節減効果もあり、**販管費**が前年同期比0.6%の伸びに押さえられたため

# 連結業績の要因分析

## 経常利益、中間純利益



(単位:百万円)

2005/8期	連 結	前年同期比増減
営業利益	15,061	+851
営業外収益	562	-50
営業外費用	893	+256
経常利益	14,730	+544
特別利益	278	+136
特別損失	5,961	+5,176
中間純利益	5,290	-2,627

### 経常利益は5億円増加

- \* 営業外費用のうち閉店に伴う解約損害金は、閉店が計画を38店上回り、また前年同期に比べても69店多かったことで、2億4千万円増加

### 中間純利益は26億円減少

- \* 当期より、固定資産減損会計を適用  
49億8千5百万円を特別損失に計上  
その結果、中間純利益は33.2%減少
- \* しかし、計画比では4億5千万円プラス

# 連結キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

	2004/8期	2005/8期	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,878	29,410	+5,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	-6,868	-7,545	-677
配当金の支払額	-1,378	-1,723	-345
フリーキャッシュ・フロー	15,632	20,142	+4,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	-2,408	-1,977	+431
現金及び現金同等物の増加額	14,600	19,887	+5,287

## 営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比55億円増加

- \* 資金流出を伴わない費用である減損損失約50億円を計上
- \* ハイウェイカード販売中止に伴う駆け込み需要に備え、大量の仕入を行ったことで買掛金・加盟店仮勘定が86億1千7百万円増加

現金及び現金同等物の増加額は198億8千7百万円

# エリアフランチャイザーの状況



## 【エリアフランチャイザーの業績】

(単位:店、百万円)

	2005/8期						
	出店	閉店	期末店舗数	売上高	前年同期比	既存店前年比	エリアライセンスフィー
サークルKのエリアFC	9	2	133	10,751	13.4%	0.4%	64
サンクスのエリアFC 13社合計	58	39	1,104	93,347	2.0%	-3.3%	1,621
<b>合計</b>	<b>67</b>	<b>41</b>	<b>1,237</b>	<b>104,099</b>	<b>3.1%</b>	<b>-3.0%</b>	<b>1,686</b>

## 【連結子会社2社の損益状況】

(単位:百万円)

2005/8期	経常利益
サンクス青森(株)	70
サンクス西埼玉(株)	70

## 【トピック ~ サンクス北関東】

(株)サンクスアンドアソシエイツ栃木は、当社と締結していたエリアライセンス契約を、2005年7月1日に会社分割により新設した(株)サンクス北関東へ継承し、同日当社は(株)サンクス北関東の全株式を取得

# 下期の取組み(1)



## ■ 下期の出店計画を達成:開発力の強化を図る

(1) 加盟候補者促進に向けて、FC契約の制度改正を検討

- ・法人契約を強化：これまでチェーンで別々だった法人開発部門を一本化
- ・8月末現在の契約残は233件 3月末時点に比べ、47件増加

(2) 東京・名古屋・大阪での三大都市圏の徹底ドミナントに向け、開発人員を増員

(3) 東北・北海道エリアはリロケート出店に戦略を転換

(4) 未出店地域である群馬県で来期の出店に向け、活動を継続

## ■ 既存店前年比の伸長:運営力の強化を図る

・「店舗運営の6段階」の浸透を継続推進

- ・サークルKでは成果が上がりつつあるが、サンクスでもさらに浸透を図り、伸び悩んでいる既存店前年比の伸長につなげる
- ・カウンターファーストフードの強化:サンクスでも「おでん」の販売を拡大

# 下期の取組み(2)



## ■ 差別化を図る商品、サービスの開発:マーケティングイノベーションの推進

### (1) おいしさの追求、企画開発商品の強化

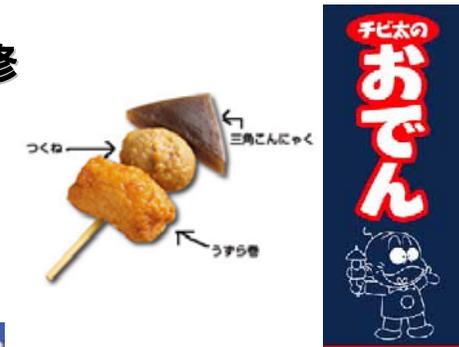
- ・QRコードを活用したインターネット調査やレシートデータの分析を実施し、お客様のニーズをリサーチ

QRコード



### (2) 成功事例の共有化を推進

- ・昨年、サークルKの関東・静岡で販売し、大ヒットの「美登利寿司監修 とろさんま炙り焼寿司」を全国のサークルKとサンクスで販売
- ・サークルKの「チビ太のおでん」をサンクスでも販売



### (3) サービスの強化

- ・10月1日より、チケットサービスを「チケットぴあ」に統合



- ・10月3日より、新サービス「ネットプリカ」の販売を開始



ネット通販・オンラインゲームの普及・拡大に伴い、プリペイド式の電子マネー需要に対応

- ・11月15日より、「ゆうパック」の取扱いを開始



- ・「KARUWAZA CLUB」カードに新サービスを導入

値引きサービス

電子スタンプサービス:スタンプがすべて揃うとクーポン券を発行



# 2006/2期の出店計画と連結業績予想



(単位: 店、百万円)

	上期実績	2006/2期		期首の 通期計画
		通期	前期比	
出店	152	347	-15	386
閉店	167	317	+79	221
期末店舗数	5,256	5,301	+30	5,436
チェーン全店売上高	479,110	934,810	+0.1%	955,610
既存店前年比	-2.4%	-2.0%	-	-0.9%
平均値入率	29.0%	29.0%	+0.22%	29.0%
営業総収入	95,463	186,360	+5.4%	181,580
営業総利益	69,229	136,190	+3.1%	137,380
販管費	54,167	108,740	+1.0%	109,760
営業利益	15,061	27,450	+12.6%	27,620
経常利益	14,730	25,930	+9.8%	25,930
当期純利益	5,290	11,770	-7.0%	12,550

## 下期の出店計画は修正せず

- \* 期首の計画通り、下期の出店計画は変わらず

期首の通期計画との差は、  
上期の未達分

## 閉店は積み増し

- \* 下期も不採算店を中心に閉店  
期首計画より96店積み増し

## 経常利益では期首計画通り

- \* 上期出店の計画割れ、閉店の積み増しにより、売上と収入、利益計画を修正

## 特別利益約17億円を見込む

- \* エーグループ厚生年金基金代行部分返上に伴う退職給付会計処理

当期純利益のマイナス幅は  
中間純利益に比べ縮小

(注) 期首の通期計画とは、2005年4月の決算発表時の計画です。

# 株主還元について



## 方針：業績の伸びに応じて利益還元

(当面は連結当期純利益の20%を配当として還元、配当性向は30%が目標)

### 【配当金】

年間配当金は**2円増配**の38円、  
配当性向は27.8%の予定

	2005/2期	2006/2期
中間配当	16円	<b>19円</b>
期末配当	20円 (記念配当2円を含む)	19円(予定)
年間配当金	36円	38円(予定)
配当性向	24.6%	27.8%(予定)

### 【株主優待制度】

年2回「お買物カード」を株数に応じて  
進呈

ご所有株式数	株主優待内容
100株～499株	1,000円分(年間2,000円分)
500株～999株	2,500円分(年間5,000円分)
1,000株以上	5,000円分(年間10,000円分)



**本資料には発表日現在における将来の見通し、  
計画のもととなる前提、予想を含んだ内容を記載  
しております。**

**実際の業績は今後様々な要因によってこれらの  
予想とは異なる可能性があります。**